

本社仮移転に伴う新しい働き方の試行 — 3つのビルで新しいオフィス空間を設計 —

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、このたび本社ビル建て替え※(2023年度完成予定)に伴う仮移転先を決定しました。仮移転先では働き方改革の一環として、当社が目指す自己発働型社員の育成に適したオフィス環境を構築し、効率的かつ知的生産性に優れたイノベーションを生む新しい働き方を試行します。

※当社は、他の事業者とともに本社ビル建て替えを含む京橋一丁目東地区開発事業の事業主体として、芸術・文化の拠点形成によるまちづくりに取り組んでいます。詳細については<http://www.toda.co.jp/assets/pdf/20160307.pdf>をご確認ください。

1. 本社仮移転について

当社は、現在建設中の八丁堀2丁目ビル(右表No.1)に2019年12月の移転を予定しています。なお、これに際し本社機能の一部と東京支店・首都圏土木支店を分散し、複数のビルに移転(2018年11月以降順次)する予定です。

No.	所在地	利用床面積	入居フロア数	所有区分
1	東京都中央区八丁堀 2-8-5	約 1,224.8 坪	9フロア	自社
2	東京都中央区京橋 1-18-1	約 558.9 坪	2フロア	賃貸
3	東京都港区芝浦 3-9-1	約 1,568.6 坪	5フロア	賃貸

表1: 試行対象となる仮移転先

2. 仮移転先における新しい働き方の検証

現本社ビルに在籍している全ての社員(約1,200名、以下対象者)を対象に、以下の取り組みを行います。所有形態やオフィス面積など環境の異なる複数のビルで様々な検証を行います。

- ① **センシング調査** 仮移転前に、対象者全員に勤務時間中ビーコンを着用させ、部門間の交流度合やオフィス内のスペース利用状況データを集積・活用します(実施中)。

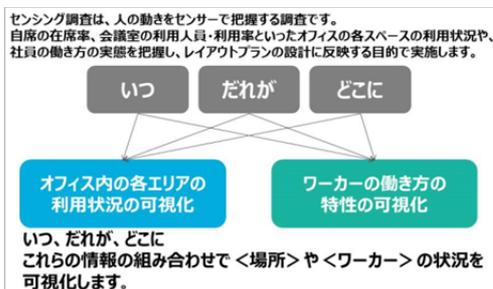


図1: センシング調査の目的



図2: センシング調査のイメージ

- ② **書類削減活動** 仮移転前に、移転部署全体で70%の書類削減を図る活動を実施し、文書情報運用プロセスの見直しによるオフィスワーク改善と省スペース化を図ります。

③ 新しい働き方の試行

センシング調査や、対象者へのアンケート調査の結果を踏まえた上で、自己発働型社員のあるべき姿を捉え直し、その育成に適した効果的なICTインフラ・ツール・サービスを導入したオフィス空間を設計し、移転先の社屋で新しい働き方を試行します。



図3: 執務室(イメージ)

3. 今後について

仮移転先における試行の成果を把握するため、入居後に対象者全員への調査を実施し、その成果を新本社ビルの設計を含めた新しい働き方の実現に活かしてまいります。